

一般質問 吉田修議員 1項目を問う



吉田修議員

問 森林組合の林業従事者育成支援について

答 若手作業員の増員体制を支援したい

令和2年度は体制整備支援の為、正規作業員の増員と地域おこし協力隊の募集を継続したい。

答 現在、森林組合の人員臨時、パート合わせて11名。今年、森林組合の経営指導に当たっていただく「地域おこし企業人」を募集したが応募がなかった。

答 現在、森林組合の人員臨時、パート合わせて11名。今年、森林組合の経営指導に当たっていただく「地域おこし企業人」を募集したが応募がなかった。

問 現在、第6次長期総合計画が策定中と思うが、森林組合への若手林業従事者の確保、育成について町の考えは。

答 現在、森林組合の人員臨時、パート合わせて11名。今年、森林組合の経営指導に当たっていただく「地域おこし企業人」を募集したが応募がなかった。

この度、森林アンケート調査用紙が森林所有者に送付されている。後継者のいない高齢世帯も増加している中で、山林を守って行く事は大変重要であることから、次の点について伺う。

健全な森林整備は重要

問 森林組合の存在は町にとって大変重要である。組合の健全経営を図る為、町からの仕事提供を増やす計画は。

答 国の森林整備支援により、町では森林環境保全直接支援事業を森林組合に委託。これまで、森林組合、県、町が山林所有者に補助制度の仕組みや団地の集約化など、事業を活性化するための説明会を開催してきた。

問 国の補助事業による町有林保育事業や町単独の「道ばた林業」を推進し、引き続き団地形成などの支援を行って行きたい。

問 相続した林地の境界がわからない方は多いと思う。森林組合に現地や隣地測量の委託をすれば、組合の仕事も増え利益につながるのでは。

答 所有者の隣地測量の委託が森林組合の事業化としてプラスになるのかを含め、今後、森林組合と協議、研究をしていきたい。



▲未整備山林

一般質問 渡部英幸議員 1項目を問う



渡部英幸議員

問 「やまびこの森施設」などの就労者確保は

答 キャンプに知識のある人材を探し、町も今後支援していく

問 町内での就労者の確保が困難な状況下で、どのような管理体制を図るのか。

答 指定管理者と具体的な管理体制を含め協議し、基本的には社員1名、パート1名の2名体制で管理する予定です。

問 指定管理者となる団体の要件にキャンプ場の管理経験者が必要ではないか。

答 キャンプの知識人は必要であり、管理者と協議しアウトドア関係の地域おこし協力隊の募集をしております。

問 悪天候時、テントや備品などの緊急撤去、再組み立てに対する敏速な対応はどのようするのか。

答 指定管理者の他の施設のスタッフを融通する体制作りをして対応します。

問 他の指定管理者それぞれを含め就労者の確保や管理体制の強化をどのように行うのか。

答 各指定管理施設単位では季節的に就労者の確保に苦慮しているが、指定管理者全体での労働力調整を含め、各施設の指定管理者と協議していきたい。



▲テント設置場所